

子どもたちの未来へつなぐ「医療×教育」



九月二十日（日）、池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアターで開催されたチャリティライブ「Remember Girl's Power(2026)」に、学校法人山口学園がアカデミア共催として参加しました。

このイベントは、小児がんや多世代（十五～三十九歳）のがん、臨床試験（治験）についての理解を広めることを目的に、がん情報サイト「オンコロ」と豊島区が共同で主催したものです。会場では音楽ライブとともに、医療や健康について考えるさまざまな発信が行われました。

学園では、子どもたちの健やかな成長を支えるため、教育に医療の視点を取り入れた取り組みを進めています。医療アドバイザーによる専門的なサポートをはじめ、年長児を対象に身体や健康について学ぶ「ひばりメディカルタイム」を実施するなど、幼児期から自分の身体や健康に関心を持つきっかけづくりを大切にしています。

チャリティライブのステージから学園の取り組みを発信

ひばり新聞

Hibari

号外

発行月

9月



当日は学園職員がステージに登壇し、こうした園での取り組みや、その背景にある思いを来場者へ紹介しました。また、急遽応援に駆けつけた職員たちもステージへ。先生たちが一緒に会場を盛り上げ、学園らしい明るさと活気が広がるひとときとなりました。

さらに、司会を務めた笠井信輔氏らとのクロスセッションでは、教育と医療がどのようにつながっているのかについて意見を交わしました。園の中だけにとどまらず、さまざまな分野とつながりながら、子どもたちが自分の身体や健康を大切にできる力を育んでいく。今回の参加は、学園が大切にしている取り組みを多くの方へ発信する貴重な機会となりました。

ありがとうの気持ち届ける敬老の日

今月は敬老の日に合わせて、大好きなおじいちゃん・おばあちゃんへ感謝の気持ちを伝える制作活動を行いました。

各クラスでは、「いつもありがとう」「元気でいてね」という思いを込めながら、プレゼント制作に取り組みました。絵の具を手のひらにのびにのびにつけて手形を押したり、乾いた手形に絵を描き加えたりと、一人ひとりが楽しみながら作品を仕上げていきました。

制作中には、「おばあちゃんにあげるんだー」「喜んでくれるかな？」と、渡す相手进行を思い浮かべながら話す子どもたちの姿も。誰かのために作る経験は、相手を思いやる気持ちや、自分の「ありがとう」を形にして伝える大切さに気づく機会にもなっています。

敬老の日は、子どもたちにとって家族とのつながりや、日頃たくさんさんの愛情を注いでくれる人の存在を改めて感じる大切な機会となりました。



「食」から子どもの未来を考える

この度、第二回「ひばり未来教育フォーラム」を開催しました。

今回は「食」をテーマに、日頃より園の給食や食育活動を支えていただいている株式会社ミールケア、給食で使用している「金芽米」を製造する東洋ライズ株式会社を迎え、保護者の皆様とともに毎日の食事について考える機会となりました。

フォーラムでは、栄養士の視点から、食事のバランスや健康な身体づくりのために大切なことなど、家庭でも取り入れられる身近な内容を紹介。また、子どもたちが普段の給食で食べている「金芽米」についても、その特徴や栄養価、おいしく炊くためのポイントなどを学びました。

金芽米を使ったおにぎりの試食も行われ、実際に味わいながら理解を深める時間に。参加した保護者の皆様も熱心に耳を傾け、メモを取る姿も多く見られ、「食」への関心の高さが感じられました。

「ひばり未来教育フォーラム」は、子どもたちの未来について、園と家庭と一緒に学び、考える場としてスタートした取り組みです。これからも教育や健康、子育てなどさまざまなテーマを取り上げていきます。



今月のお知らせ

フォーラムの記事も掲載

第2回ひばり未来教育フォーラムの様子も紹介中！

ぜひみなさまご覧ください！

いいね・フォローも大歓迎です♪



@HIBARI_KINDERGARTEN